

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2019 年 4 月 22 日
報告者	山本 哲 央
助成団体名 (所属団体名)	みんなで楽しむコンサート実行委員会
団体住所	〒 520-1532 滋賀 都道 府県 高島市新旭町熊野本1223-3 山本方
団体電話番号	0740 — 25 — 5112
代表者 (助成対象者)	水 谷 平
助成対象事業	みんなで楽しむ音楽会
事業（助成）期間	2016 年 4 月 1 日 ~ 2019 年 3 月 31 日
事業費総額	1,435,412 円
助成金総額	1,000,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

高島市に在住の障害をお持ちの方及びその家族、またその理解者の方、さらにデイサービスを利用の高齢の方を対象とした本格的なクラシック音楽を、健常者の人と共に鑑賞し、交流を深めるコンサートを、過去24年間に亘り「みんなで楽しむコンサート」として、120名～150名の規模で開催してきた。今回は、このようなコンサート開催の経験を踏まえ、スリッパで出かけられるような地域に根ざした小規模な「音楽会」が出来ないものかと考え、開催した。40～50名の各集落規模の音楽会で、クラシック音楽がこの高島のいろいろな地域で親しまれることを目指した。

- 1年目 ① ほろん会館（今津町）
平成28年4月16日（土） 参加者 50名
- ② ほろん会館（今津町）
平成28年9月24日（土） 参加者 37名
- ③ さわの風（マキノ町）
平成28年10月21日（金） 参加者約70名
- ④ やまゆりの里（朽木）
平成28年10月28日（金） 参加者約70名
- ⑤ 新旭公民館（新旭町）
平成29年3月18日（土） 参加者83名
- 2年目 ⑥ 清風荘
平成29年4月21日（金） 参加者約60名
- ⑦ マキノ東小学校（マキノ町）
平成29年9月27日（水） 参加者139名
- ⑧ ほろん会館
平成29年10月7日（土） 参加者32名
- ⑨ やまゆりの里（朽木）
平成29年10月27日（土） 参加者約70名
- ⑩ 世代交流センター（安曇川町）
平成30年3月16日（金） 参加者76名
- 3年目 ⑪ 本養寺（新旭町）
平成30年5月11日（金） 参加者36名
- ⑫ 今津教会（今津町）
平成30年10月19日（金） 参加者47名
- ⑬ 長法寺（マキノ町）
平成30年10月20日（土） 参加者39名
- ⑭ やまゆりの里（朽木）
平成30年11月16日（金） 参加者約85名
- ⑮ 清風荘（今津町）
平成31年2月14日（木） 参加者43名

3、事業成果

1. 3年間に高島市内で15回、音楽会を開催した。マキノ町では、特別養護老人ホームの「さわの風」、マキノ東小学校、長法寺のお寺で、今津町では、ほろん会館や今津教会、特別養護老人ホームの「清風荘」で、朽木では、特別養護老人ホームの「やまゆりの里」で、新旭町では、新旭公民館やお寺の本養寺で、安曇川町では、世代交流センターなど、地域や開催場所も多岐に亘った。参加された人たちも、小学生やお寺関係者、教会関係者、公民館に集う人、老人ホームの利用者やその周辺に住む人など、いろいろな人たちに声を掛けいろいろな人たちにクラシック音楽に触れていただく機会を得ることができた。そして、結果的に、参加者は総勢延べ約940名にもなり、高島市内の多くの階層と地域の人たちに楽しんでいただくことができた。
2. 各音楽会の会場では、参加者名簿に記帳していただいた。そのおかげで、ガリバーホールで開催した私共が関わるコンサートに、案内状を送付することができ、結果、観客動員に結び付けることができた。そして、今後も、クラシック音楽普及のための名簿として、活用できる見通しもできた。
3. 別の団体が開催されたオペラ「天空の町」の観客動員の呼びかけに、協力する形で、私共の音楽会に参加された人たちにお誘いするができ、結果、観客動員に成功し、公演も成功裏に終わらせることができた。
4. それぞれの会場で音楽会を開催する際に、前日にチラシを各戸配布したが、その際、その地域の住む人と会話ができ、その地域の実情を理解するのに役立った。

4、今後の課題など

1. 参加協力金について、当初 1 公演あたり 1, 0 0 0 円と考えていたが、公演の回を重ねていく中で、クラシック音楽になじみのない高島で、1, 0 0 0 円は高すぎるのではないかと考え、5 0 0 円にした。そうなると、このように助成金を頂いた時には公演は開催できるが、助成金を頂かない場合には、こうした公演を企画することには工夫の必要性があると感じた。
2. 多様な人たちに本格的なクラシック音楽に触れていただきたいという思いは持っているが、会場の利用料や参加者数の見通しなど考慮することも多く、今年度開催を計画するにあたっては一考の余地がある。
3. ウィークデーに開催するか、週末にするのか、参加していただく対象者の動向を踏まえ考えなければならないこと。また開催する地域の、他の行事の日程を調べておく必要があると思ったこと。